

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第37号 平成25年11月10日

山田打った！走った！！

光希2安打完封！！

	1	2	3	4	5	6	7	R
P	0	0	0	0	0	0	0	0
G	0	0	0	0	1	0	×	1



11/10(日)中田中央公園野球場にて、Paradox2008とオープン戦を行った。天気予報が当たるのか？当たらないのか？という天候で始まったゲームであったが、ゲーム終了後には何と晴れ間も覗く天気であった。そんな強風の中マウンド上がったのは、前節同様光希、前節も5回を無安打に抑える内容のピッチングだっただけに、今日のピッチングも期待したいものである。そんな入りはボールから、しかし力まず打たせる投球で先頭の内野ゴロを皮切りに、後続2打者も斬り、幸先の立ち上がりを見せた。その後も3回までパーフェクトピッチング、そんな中の打線は、初回に哲也が安打で出塁するも後続が続かず、2回にも泉が安打で出塁するも後続が続かず、早くも2残塁を記録、そしてゲームが動きかけたのは、4回の相手攻撃、二死後、今日初の安打を3番打者にレフト前に運ばれる、盗塁を警戒したが、この回位から徐々に雲が熱く、非常に視界が悪い中の牽制球3球目、この悪天候により、牽制を一塁が捕球出来ず、二塁への進塁を許す。が、光希は崩れる事なく、後続を三振に斬り、この回も0を並べた。5回には、先頭打者をライトオーバーの3ベースを放たれ、無死三塁とピンチを迎えたが、次打者を投ゴロ、そして、動いてくる予感がした、その瞬間、三塁への牽制球でベースランナーを刺し、自身でピンチの火を消した。後続も捕飛に打ち取り、この回も0を並べた。そして、その裏の攻撃、この回先頭の山田が2球目を綺麗に振り抜き打球は左中間に、これが2ベースとなる。後続は倒れたが、次打者のシローが何とか祐介を三塁に進めた。ここで、打席には達脇が入る、その初球、相手投手がWP、しかし、ホームからバックネットまでは然程距離が無いが、祐介が果敢にゴールを目指し、一瞬早く滑り込んだ足がホームを踏み、先制点を挙げた。今日の光希には、この1点で充分であった。翌6回も三者凡退、そして、最終回は不運な四球を出したが、今日女房役の哲也がきっちり二盗を刺し、結果この回も三人で斬り、見事7回完封勝利をチーム及び自身にもたらした。

今日の勝因はやはりバッテリー、捕手はその日の投手を見極め、投手は自身で崩れなかったのが勝利の一番の要因。

そして、守備陣においては、不運な失策を除き、守り抜いた。？

打者においては、水物の中で甘い球を強振出来、且つ、迷い無く走った事が勝利の要因であろう。

今期も残りを数えるだけになった、己が満足するプレーを続けられれば、その結晶がチームの勝利に繋がるであろう！

目指せ残りのゲームの全勝を！